

本田晃子 講演会

JSCA 建築構造士登録更新評価点  
建築 CPD プログラム認定講習会

2024. 3. 23 sat

岡山大学共有共創コモンズ 講義室

本田晃子 講演会 13:30~15:00

共有共創コモンズ見学会 15:00~16:00

※参加費無料

QRコードを読み取り  
Google フォームに記入



申込方法

主催 (一社) 日本建築構造技術者協会中国支部

# ソ連建築と アンビルトの可能性

ロシア・アヴァンギャルドからペーパー・アーキテクチャー運動まで

# ソ連建築とアンビルトの可能性

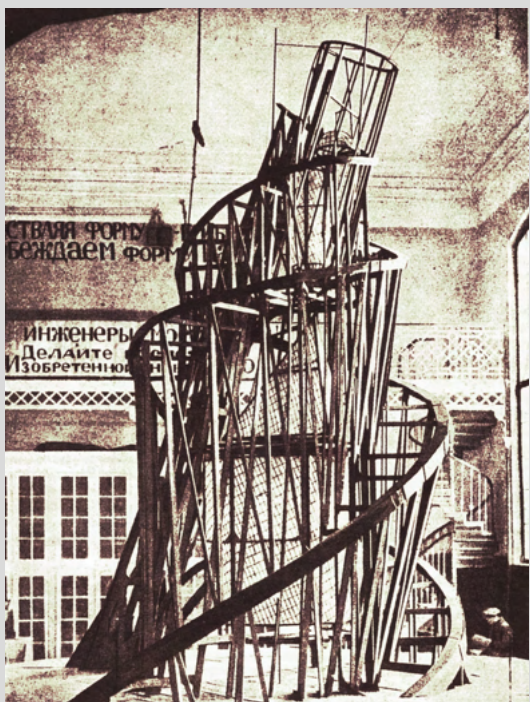
ロシア・アヴァンギャルドからペーパー・アーキテクチャー運動まで

JSCA 建築構造士登録更新評価点 建築 CPD 情報提供制度講習会

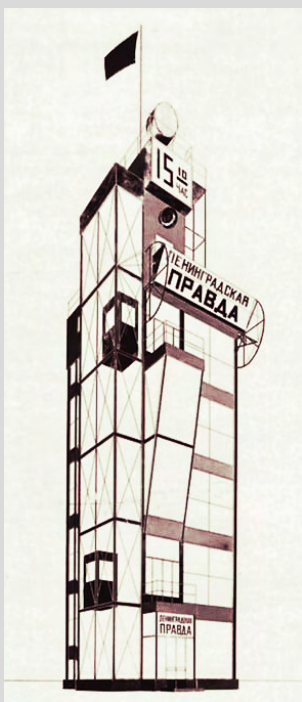
主催：(一社) 日本建築構造技術者協会中国支部 後援：(一社) 岡山県建築士事務所協会 (一社) 岡山県建築士会  
(一社) 日本建築学会中国支部岡山支所 (公社) 日本建築家協会中国支部岡山地域会

1917年、ロシアで起きた十月革命は、建築界にも革命をもたらした。ロシア・アヴァンギャルドと総称される前衛建築家たちは、革命後の世界のために、従来の王侯貴族や富裕層のための建築ではない、新しい建築の形を探し求め、実験を繰り返した。その結果1920年代のソ連では、ユートピア的なまでに大胆な建築や都市計画が出現することになった。もちろんこれらの計画のほとんどは、実現されることのないまま、いわゆるアンビルトに終わったが、彼らの作品は建築雑誌などのマスメディアを通じて世界中に広まり、現在まで多くの建築家に影響を及ぼし続けている。

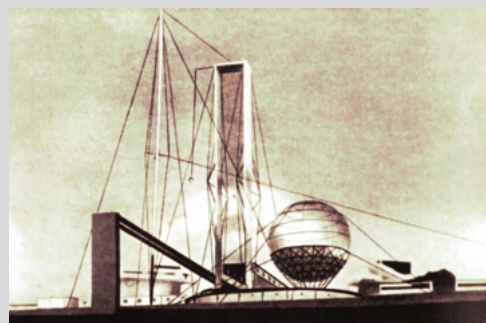
なぜこのようなアンビルト建築が生まれ、それはどのように伝播し、どのような終焉を迎えたのだろうか。そして単なる「失敗した」建築ではない、アンビルト建築の可能性があるとすれば、それは一体いかなるものなのだろうか。一般的に建築史は「建てられた建築」の視点から語られるが、今回は「建てられざる建築」の側から、もうひとつの建築の歴史をひも解いてみたい。



①



②



③



④

## 図版出典情報

- ① 第3インターナショナル記念塔模型 ウラジーミル・タトリン (Вещь. 1922. No1-2.)
- ② レニングラード・プラウダ社屋設計案 ヴェスニン兄弟 (Современная архитектура. 1924. No.1.)
- ③ レーニン図書館学研究所設計案 イワン・レオニドフ (Современная архитектура. 1927. No4-5.)
- ④ 文化宮殿設計案 イワン・レオニドフ (Современная архитектура. 1930. No5.)



## 講師略歴

本田晃子 岡山大学社会文化科学研究科准教授

1979年岡山県生まれ。2012年に東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、現在は岡山大学社会文化科学研究科准教授。専門はロシア建築史、表象文化論。主な著書に「天体建築論——レオニドフとソ連邦の紙上建築時代」(東京大学出版会、2014年)、「都市を上映せよ——ソ連映画が築いたスターリニズムの建築空間」(東京大学出版会、2021年)、『革命と建築』(ゲンロン、2023年)など。